

## <弛み無い祈り>

コロサイ 4 : 2

聖書の中には祈りについて多く書かれている。

人類最初の祈りはいつ・・・？

祈りの実例は数多くある。

例) 捕囚先のバビロン帝国の異教の地で、日に三度捧げたダニエルたちの祈り。

ダニエル 6 : 10

どんな時にも心を込めて神を呼ぶダビデの祈り。 詩篇多数

天から火を呼び下したエリヤの祈り。 I列王記 18 : 42

ピリピの町で宣教し捕らえられ投獄されたパウロとシラスの祈り。

使徒 16 : 25

イエス様の祈りは？

1) 荒野へ退かれて40日間の断食の祈り

これから神の国を宣べ伝えるという、神の御子としての公の働きが始まる直前。  
サタンがイエス様の元へやってきて試みた。十字架で救いの道を完成しようと  
される道のりを誘惑に陥れて阻止するようなもの。

◆イエス様に対して、この世の方法で問題に立ち向かい、それによって成功を  
手に入れるように誘惑した。

「あなたが十字架に架からなくても、別な方法でこの世を救うことができる。」  
イエス様は父なる神さまに祈り、御心に立ち続けた。

2) 十字架に架かれる直前のゲッセマネの園での祈り

イエス様が「ひどく恐れてもだえ始めた」

魂が経験する最大の深い苦悩

「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで目を覚ましていなさい。」

ゲッセマネでの祈りは、荒野の誘惑の時と違って試みを行ったのはサタンではない？！

◆サタンの勢力よりも自分を苦しめ、当惑させて窮地に追いやるのは自分自身。

イエス様はゲッセマネの園でご自身と闘われた。

◆「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

こういわれたイエス様ご自身が、十字架を負うために自分との闘いに勝たなければならなかった。ご自分のためではなく、私のために。

誘惑に陥らないように、目をさまして、祈り続けなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。

マルコ14：38

「目を覚まして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。」

たゆみない(弛み無い)・・・油断や隙のない。途絶えることのないという意味。

①目を覚まして イエス・キリストがますますはっきりとしてくる。

②感謝をもって 「何が感謝なのだろう」と感謝を探す。見つけた感謝を大事に守り、暖めて祈る。

③たゆみなく祈る 祈りを自分の習慣として身に着ける。  
祈ることをやめてしまわない。